

第17回 トンネル施工検討委員会シールドトンネル部会 議事概要

1. 開催日時・場所

2025年12月18日（木）14:00～16:00

JR東海品川ビル会議室

2. 出席者

委員：長岡技術科学大学名誉教授 杉本 光隆（部会長）ほか5名

※ 当日欠席した2名からは事前に意見を聴取

3. 事務局

東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部

4. 議事概要

1) 第一首都圏トンネル新設（北品川工区）における地表面隆起について

工事現場の地上付近で発生した地表面の隆起に関して調査を行った結果、判明した原因と今後の対策等を取りまとめた内容について、事務局から以下の説明を行った。

- ・シールドマシンのチャンバー内に空気が溜まった状態で掘進していたところ、地表に至る隙間がある箇所に遭遇したのを機に空気が短時間のうちに漏れ出し、地表付近まで達し、土とともに舗装盤を押し上げたものと推定されること。
- ・チャンバー内に一定程度の空気が溜まった原因は、土砂サンプリング装置を用いて空気を抜きながら掘進してきたものの、空気を抜く頻度や量が十分ではなかったためであること。
- ・今後の掘進に際しては、空気を抜く頻度や量を決め、チャンバー内に空気を溜め過ぎることのないよう、確実に施工管理していくこと。

委員からは、今後の掘進にあたっては、シールドマシンのチャンバー内に空気が溜まり過ぎないように、空気の排出を適切な頻度で行い、添加材の用い方にも留意して泥土圧のバランスを保ちながら慎重に掘進を進めていくよう、助言があった。

2) 第一中京圏トンネル新設（名城工区）における本格的な掘進での施工計画について

本格的な掘進に向けて、第一中京圏トンネル新設（名城工区）における今後の施工計画の内容について、事務局から説明を行った。

委員からは、本格的な掘進が安全かつ確実に進むよう、工区の事情を踏まえて適切に状況を把握しつつ、引き続き慎重に進めていくよう、助言があった。

3) 本格的な掘進の施工状況について

第一首都圏トンネル新設（小野路工区）、第一首都圏トンネル新設（梶ヶ谷工区）、第一首都圏トンネル新設（東百合丘工区）、第一中京圏トンネル新設（坂下西工区）における本格的な掘進の状況について、施工管理を慎重に行い、周辺への影響を確認しながら掘進を進めていることを、事務局から説明した。

委員からは、今後の掘進にあたっても、引き続き慎重に進めていくよう、助言があった。